

地域で支え合うシステムづくり（事例：曾祢地区 地域福祉推進チーム）

- 民生委員児童委員がリーダーとなり、担当区域内の区長や保健推進員、食生活改善推進員、老人保健ビジターなどの保健福祉活動者と共に「地域福祉推進チーム」を組織し、地域福祉の充実を図っています。
- チーム員が地域の現状について話し合い、その現状から見出される課題について検討、事業化しています。



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	中能登町（曾祢地区）
②人口（※1）	19,305人（309人）（ ）
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	65歳以上 30.7%（31.1%）（ ） 75歳以上 16.4%（17.2%）
① 取組の概要	地域で支えあう体制づくりとして「地域福祉推進チーム」が主体的に活動。活動の中から高齢者の声を反映し、介護予防サロンを立ち上げた。
⑤取組の特徴	推進チーム員に加え、サロン運営に公民館長や地域の有志を巻き込み地域のサロンを運営。介護予防と地域の高齢者の集団の場での見守りの役割を果たす。
⑥開始年度	平成19年度
⑦取組のこれまでの経緯	地域福祉推進チームの見守りや声かけの活動を通し、地域の高齢者の共通の問題を把握。居場所づくり、交流の場、介護予防などの課題があげられ、曾祢あすなる会を開催（介護予防サロン）することとなった。
⑧主な利用者と人数	65歳以上の高齢者 実人数 31人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	曾祢地区
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	地域福祉推進チーム活動補助金（年額16,000円）
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	なし
⑫取組の課題	「地域福祉推進チーム」の人材確保
⑬今後の取組予定	継続
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	中能登町住民福祉課 TEL 0767-72-3133

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。